

長期目標	中期目標	短期目標（評価項目）	自己評価
こどもまんなか・ひとりひとりが愛されて輝くコミュニティ	ひとりひとりが愛される保育	毎日喜んで働くことができる	A
		こどもの姿を全感覚を用いて受けとめる	A
		保護者を子育ての主演として応援する関係づくり	A
		感謝の言葉、肯定的な言葉	A
	ひとりひとりの生き方を尊重	ドキュメンテーションを通じて、こどもの視点に立つ	C
		こどもの輝きを引き出す環境設定	B
		生活習慣を身につける環境・指導・援助の工夫	A
		職員同士での保育の振り返り、語り合い	B
		事故防止・安全への配慮	B
	地域と一緒に子育て	地域の方々と関わりこどもの遊びを発展させる	C
		こどもの育ちを保護者・地域に発信	B
保護者の保育参加を皆で喜べる工夫		B	
評価・改善策	<p>上半期の自己評価と比較し、ひとりひとりが愛される保育の項目においてはすべてがA評価となっており、大きな進展が見られた。一方でドキュメンテーションについては事務作業時間が確保できないことからなかなか活用ができていない現状がある。また地域の方々との関わりにおいては、保育の中でその関わりを生かして保育活動を展開させるところまでまだ至っていない現状がある。職員が喜べて働けている環境を大事にしながら、すべての保育士に対してドキュメンテーションを必須とするのではなく、インスタ発信を核としたドキュメンテーション作業の労働集約と、それを元にした職員の分かち合いを行い、それぞれの得意分野を活かした協業を目指している。</p>		
総評	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こどもの主体的な取り組みを重視しつつも「ルール」とは何なのかについて職員同士でディスカッションを重ねる中で、生活習慣の指導について進展を感じられている結果が得られているのは前進だと感じている。</li> <li>・一方で、保護者・地域を含めた外部との交流の部分が課題なのは「時間的余裕がない」ところから来ていることも大きな影響があると感じている。今年度よりノンコンタクトタイムの統計を全クラスで行なっており、クリエイティブな思考を実現化する準備の時間を取れる工夫を進めていきたい。</li> <li>・ひとつの大きな家族として、こどもも保護者も、地域関係者も喜んで園に関わるができるように信頼関係を深めていきたい。</li> </ul>		

平均評点に対する評価 A:80%以上 B:60-80% C:40-60% D:40%以下